

トルコ地震受けAMDA

緊急支援で 医師ら派遣

23日に発生し、死者が2000人を超えたとされるトルコ東部の地震で、国際ボランティアAMDA（本部・岡山県北區伊福町）は24日、緊急医療支援活動を行うため、医師2人、通訳などを担当すトルコ人調整員1人を現地に派遣した。（5

面 関 連



J R岡山駅を出発する
刈崎医師（左）と大類医師

J R岡山駅に同日午

後5時ごろ、医師の刈

崎祐一さん（67）＝福岡

市＝と大類隼人さん

（30）＝神戸市＝が集

合。2人は「被災者

の生死を分けるとされ

る」72時間以内に現地

入りできる。被災地支

援のため最大限力を尽

くしたい」と話した。

2人は関西国際空港

で調整員のイユルディ

ス・アメフットさん

（23）と合流し、同日夜

の便で出発。イスタン

ブールを経由し、早け

れば25日にも被災都市

ワンに入る。滞在予定

は1週間。

AMDAによると、

東日本大震災の際、活

動拠点としていた宮城

県南三陸町の避難所に

日本トルコ文化交流協

会（東京）から飲料水

が贈られるなど支援

を受け、相互扶助の観

点から派遣を決定し

た。

AMDAは1999
年にもトルコで2度起
きた地震の緊急医療支
援活動を行っている。

（大江恵里奈）